



家畜情報 No. 3

平成18年 4月18日
神奈川県農業共済組合

第34回神奈川県ブラックアンドホワイトショーに参加して

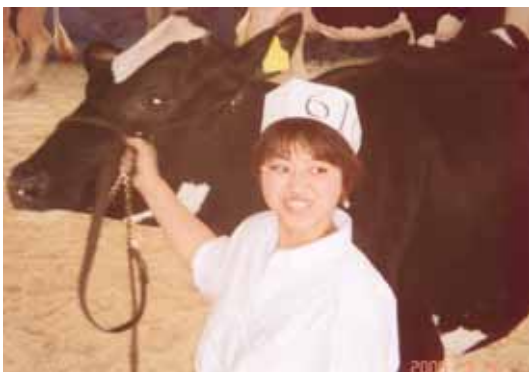
NOSAI 神奈川 市川 正 雄

平成18年3月26日、神奈川県家畜集合センターにおいて、神奈川県ホルスタイン改良同志会主催の第34回神奈川県ブラックアンドホワイトショーが開催されました。県内酪農家をはじめ、獣医師、学生、畜産関係者が見守る中、審査員に福屋茂生「(社)家畜改良事業団十勝種雄牛センター」氏をむかえ各支部別・部別に参加頭数126頭が審査されました。



審査は出品区分、年齢区分によりそれぞれ第1部から13部に分かれ、各部別のチャンピオン・リザーブチャンピオン・リボン賞・努力賞が選出され、デーリィクイーンより副賞(NOSAI神奈川等)が手渡されました。目を引いたベストダウ(検定成績を有するもの・305日乳量・乳脂肪3.5%換算)は検定乳量9,364kg~16,365kgであり県内乳牛の改良の確かさを現していました。

各部の上位2頭が再登場し最高位賞審査の結果、「経産牛グラントチャンピオンは伊勢原・石田栄男、未經産牛グラントチャンピオンは横浜・相澤緩始」両氏の所有牛に栄冠が輝き万来の拍手で祝福されました。



今回の感想として、リードマンとして女性が何人か出場し会場が和みました。また酪農4代目の孫が初出場(学生)ながらリードマンで奮闘している姿を祖父母が応援している光景は温もりが感じられ、今後の神奈川県酪農に大いに期待することができました。

会場周辺の桜花の香りが漂う中での
スナップ写真(県酪連・内藤氏提供)